科目区分	基礎分野	授業科目	哲 学
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	3年次 第1学期
授業概要 *講師からの メッセージ	<p>この講義では、医療分野において「生命倫理の問題」として取り上げられている問題について解説・検討していくことを通して、それらの背景にある哲学的な問題に目を向けていきます。そのことによって、医療分野において問われている事柄が、「人間が人間である」以上避けようのない問題(哲学の問題)と深く関わっていることが明らかになるでしょう。</p> <p>医療分野における諸問題を「人間のあり方」という観点から考察することによって、医療現場での実践に際して皆さんが適切な判断を下すための一助となること、これが授業の目標です。</p>		
<p>科目目的：人間の存在価値について客観的に理解し、人間の行為の持つ意味について学びを深める</p> <p>科目目標：1. 価値観やものの見方について理解する 2. 人間をめぐる現在の様々な問題について考える</p>			
回	授業内容	授業方法	
1	ガイダンス／哲学とは／倫理と法	講義	
2	「人工妊娠中絶」問題から「人間」について考える(1) - 制度の歴史	講義	
3	同上(2) - プロライフ(中絶禁止の立場)の主張	講義	
4	同上(3) - プロチョイス(中絶容認の立場)の主張	講義	
5	動物と人間 - シンガーの動物解放論	講義	
6	善と悪はどう違うか - 徳倫理学・義務論・功利主義	講義	
7	「脳死」問題から「人間」について考える(1) - 脳死と植物状態	講義	
8	同上(2) - 脳死判定基準・「人の死」とは	講義	
9	安楽死の問題(1) - 安楽死とは／判例	講義	
10	安楽死の問題(2) - 「死の自己決定」の拡大	講義	
11	死は悪いことか - 先哲の見解／「消極的悪」としての死(ネーゲルの見解)	講義	
12	生殖技術の問題(1) - 技術の概要	講義	
13	同上(2) - 規制のあり方・親の決定は絶対か	講義	
14	未来世代への責任 - ヨナスの技術論	講義	
15(45分)	復習	講義	
16(45分)	終了試験		
評価方法	<p>筆記試験70%、コメントペーパー(あるいは課題)30% 評価基準参照</p> <p>基本的に、コメントペーパー(課題)は授業時間内に書いていただく予定ですが、宿題になることがあるかもしれません。</p>		
テキスト	テキストなし、資料配布		
参考書	参考文献は授業で適宜紹介します。		
備考	<p>授業では様々な考え方を紹介します。それらを鵜呑みにして丸暗記するのではなく、内容を理解し、自分の実感に基づいて批判的に検討するつもりで臨んで下さい。</p> <p>(3校合同)</p>		